

# 2020基礎ゼミナール オープンデータを知る、作る、使う



6/9 その4

ハテナソン1

自分とオープンデータ

都市環境学部 観光科学科  
大澤 剛士

<arosawa@tmu.ac.jp>

今日のテーマ

# ハテナソン

オープンデータに対する  
今の疑問・期待等を言語化します



# ハテナソン

## ● ワークショップ手法

質問を作りながら議論を深め、課題に関する理解を促すとともに、民主的な意思決定のプロセスも経験するワークショップ手法

質問を創る学び

Question-driven Learning (QDL)



# ハテナソン

## ● ハテナ(?)とマラソンの組み合わせ

質問・課題を言語化・可視化する

質問を創る学び

Question-driven Learning (QDL)

類似語:

アイディアソン、ハッカソン

ハテナソン共創ラボ

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/hatenathon](https://peraichi.com/landing_pages/view/hatenathon)



# ハテナソン

## ● 質問作り、QFTがもたらすもの

- ・質問するために、考えが整理される
- ・聞く姿勢が変わる

専門家によると他にも色々..

- ・議論を行うトレーニング
- ・民主的な意思決定のプロセスを学ぶ



# ハテナソン

## ● 基本ルール

- ・質問の焦点を提示（当日私から提示します）
  - ・焦点に関係した質問をたくさん作ります
  - ・たくさん作った質問を分析します
  - ・グループワークで、特に重要な質問を選びます
  - ・全員で投票を行い、クラスとして重要な質問を選びます
- 
- ・この質問について、皆で議論をします  
（ハテナソンの次の回）



# ハテナソン

## ● グループワークのルール

- ・1人書記を決めます。書記は全員の質問を記録します
- ・質問は発言と同時に、チャットにも書き込みます  
書記はコピーでOKです
- ・質問を書き込むシートは一緒に配布しています
- ・質問を出している間は意見、修正、コメント禁止
- ・とにかくたくさん質問を出してください



# ハテナソン

## ● このハテナソンの狙い

基礎ゼミの全体テーマは、

「オープンデータを知る、作る、使う」

ことです。

これに向けて、オープンデータの基本を学んだ今、  
疑問や感じることを質問を作りながら言語化します。

この結果をふまえて、次のパート  
「オープンデータを作る」に進みます。





# 次回6/16

- ディスカッション

今回選ばれた重要な質問について  
全員で議論をします。

これに関連するインプットトークをします。

